



2011年9月20日
在日米国商工会議所

ACCJ、金融サービス白書を発表 —日本の国際金融センターとしての役割の拡大を目指して—

在日米国商工会議所(ACCJ)は、「ACCJ金融サービス白書-金融改革により新たな成長を実現-」と題した一連の政策提言を取りまとめました。

本白書では、日本の新成長戦略の実現に向けて最も重要であるとACCJが判断した様々な金融サービス業の問題に対する提言を、日本政府のリーダーたちに向けて行っています。

マイケル・アルファントACCJ会頭は、「日本の経済にとって重要な時期である今、こうした政策提言書を発表することができ、とても嬉しく思います。私たちは、日本の金融サービスセクターが、これまで以上に日本の経済成長の原動力として、その役割を拡大出来ると確信しています。」と述べました。加えて、

「けれども、そのためには、日本はさらなる改革を実行する必要があります。そして、世界の金融サービス企業にとって日本のマーケットがより魅力的なものとなるようにすると同時に、ライバルに負けにないだけの競争力をつけなければなりません。今回発表した金融サービス白書には、その目標を達成するために必要な、明確で具体的な提言が含まれています。」と述べました。

本白書では、金融改革に向け、以下の項目に分けて提言を行います。

1. 金融サービス産業の成長を促進するためのメカニズムを強化
2. 報告要件の簡素化
3. 証券金融およびコモディティを取り扱う総合取引所の設立
4. 現在のファイアウォール規制の再評価
5. 長期的に持続可能で包括的な成長を支援する中小企業金融の実現を通じ、金融サービスセクターの能力を高める
6. 消費者金融およびより多くの人に対し提供される金融サービスを通じて金融サービスセクターの能力を高め、持続可能で包括的な成長を支える
7. 金融サービスを提供するすべての者に平等な競争環境を提供する

8. 保険消費者の選択と利便性の向上
9. 日本の投資運用を強化
10. 効率的な公的取引所と市場、その規制の支援
11. 金融、資本市場における競争力向上のための日本の税制改革

ACCJ金融サービスフォーラム委員長であるクリストファー・ラフルアーは、「私たちが、この時期に本白書を策定すると決定したのは、日本経済を再び活性化させ、世界経済における役割を向上させることに、今こそ日本の政府がコミットメントを示すべきであり、好機であると考えたからです。」と述べました。

また、「私たちは、新しく誕生した政権の閣僚たちに本白書を紹介していく予定です。そして、この提言によって日本のリーダーたちが現在の復興への取組みを加速させ、世界の金融センターとしての日本の長期的な潜在力を認識するよう期待しています。」と述べました。

本白書は、ACCJ金融サービスフォーラムにより作成されました。同フォーラムは、次の4つの金融に関連する委員会のメンバーにより構成されています。銀行・金融委員会、保険委員会、投資運用委員会、証券委員会。

「ACCJ金融サービス白書-金融改革により新たな成長を実現-」は、以下のリンクよりダウンロード可能です。

http://www.accj.or.jp/doclib/advocacy/FSWP_J.pdf

以上

###

1114 J

—在日米国商工会議所について—

在日米国商工会議所（ACCJ）は、米国企業40社により1948年に設立された日本で最大の外資系経済団体です。米国企業の日本における経営者を中心に、現在は約1000社を代表する会員で構成され、東京、名古屋、大阪に事務所を置いています。日米両国政府や経済団体等との協力関係の下、「日米の経済関係の更なる進展、米国企業および会員活動の支援、そして、日本における国際的なビジネス環境の強化」というミッションの実現に向けた活動を展開しています。また、60以上の業界・分野別委員会を中心に活動を行い、意見書やパブリック・コメント、白書等を通じた政策提言や、政策や経済の動向等について年間500以上のイベントやセミナーを開催するとともに、各種チャリティー等の企業の社会的責任（CSR）活動にも積極的に取り組んでいます。

【お問い合わせ】

同件に関するお問い合わせは、在日米国商工会議所 渉外室メディアコーディネーター 野田由比子（電話：03-3433-6542；メール：ynoda@accj.or.jp）までお願い致します。